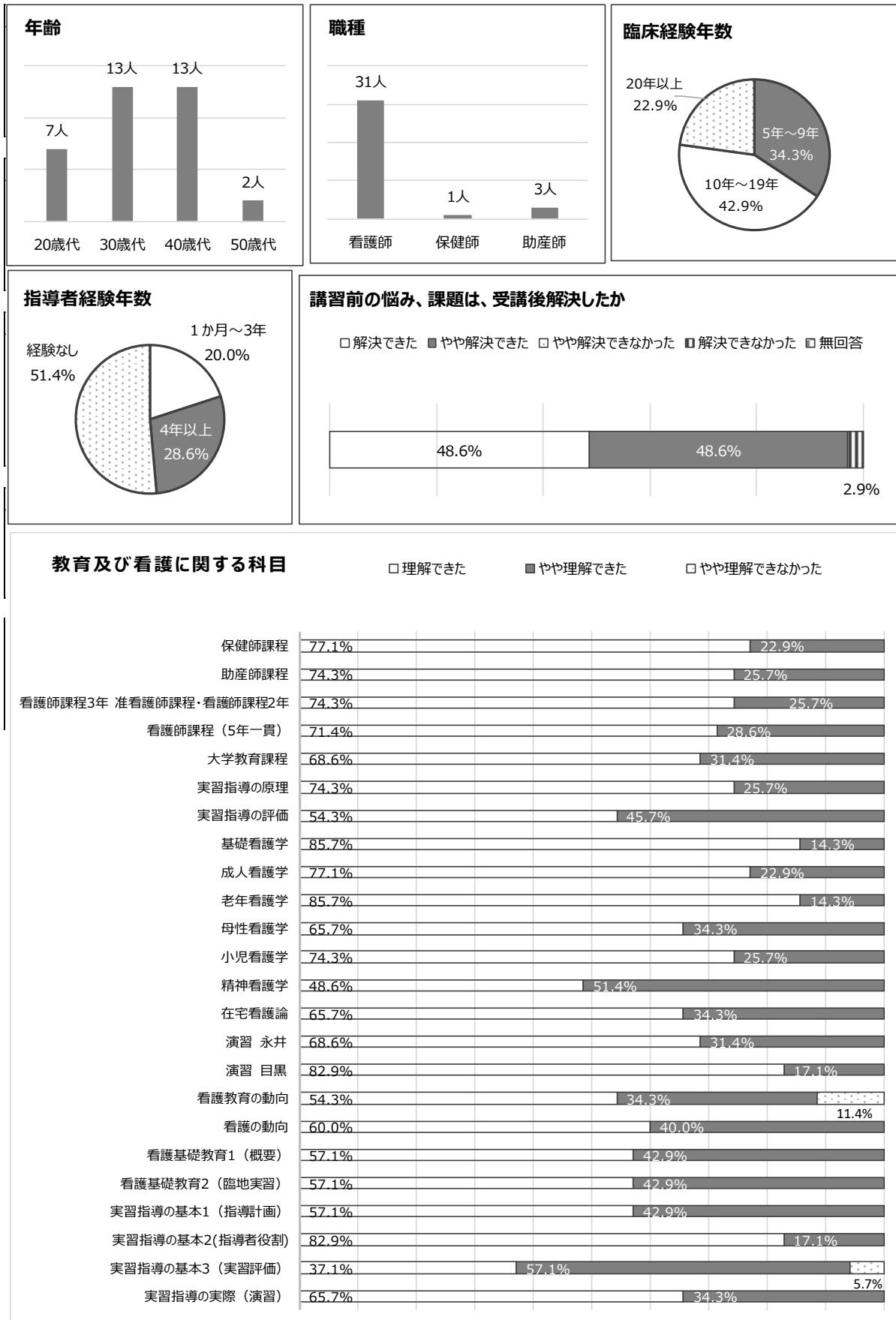


実習指導者講習会

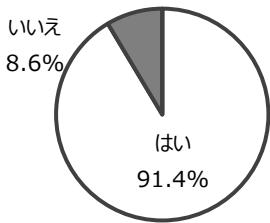
目的：実習指導者の育成。

区分	科目	時間	目標・内容	受講方法	受講期間
教育及び看護に関する科目	教育原理	15	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	eラーニング活用	6月1日～9月30日
	教育方法	15	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授－学習過程の理解 等		
	教育心理	15	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基礎知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等		
	教育評価	15	教育評価の基礎知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義、演習、実習評価の方法 等		
	看護論	15	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対応方法 等		
	看護教育課程	15	教育目的・内容・カリキュラムの考え方を知り、看護教育課程について理解する。看護過程の知識を深め、看護実践と思考過程を結びつけた指導方法を理解する。		
実習指導に関する科目	実習指導の原理	15	実習指導を意図的・計画的に実践する必要性と方法がわかる。 1. 実習の意義 2. 実習指導の方法 3. 実習指導者の役割 4. その他	集合研修	11月9日～12月12日
	実習指導の評価	15	実習計画・指導方法を評価し、指導内容を改善する必要性と方法がわかる。 1. 実習評価の意義 2. 実習評価の方法 3. その他		
	実習指導の実際Ⅰ	15	看護基礎教育における、各看護学実習の目的・目標など基本的な知識を学ぶ。		
	実習指導の実際Ⅱ	60	授業デザインの作成および実習指導場面の疑似体験を通して、実習指導者の役割と意義、学生が看護を学べるよう支援するあり方を理解する。 今後の自分の役割と課題を明確にできる。		
総計		195			

会 場	日 に ち	曜 日	9 : 30~11 : 00	11 : 00~12 : 30	13 : 30~15 : 00	15 : 00~16 : 30
佐世保	11月9日	木	開講式 (10 : 00)	オリエンテーション	特別講演	
				担当者	岩井 真奈美	余里 康子
諫 早	11月10日	金	実習指導の評価 (1)		実習指導の評価 (2)	
			山澄 直美		山澄 直美	
	11月11日	土				
	11月12日	日				
諫 早	11月13日	月	実習指導の原理 (1)		実習指導の原理 (2)	
			吉田 恵理子		吉田 恵理子	
諫 早	11月14日	火	実習指導の実際 (母性看護学)	実習指導の実際 (基礎看護学)	実習指導の原理 (3)	
			佐々木 規子	三重野 愛子	片穂野 邦子	
諫 早	11月15日	水	保健師課程			
			中尾 理恵子			
諫 早	11月16日	木	実習指導の原理 (4)		実習指導の原理 (5)	
			高比良 祥子		高比良 祥子	
諫 早	11月17日	金	実習指導の実際 (精神看護学)	看護師課程 (5年一貫)	実習指導の評価 (3)	
			堂下 陽子	木庭 昭夫	山澄 直美	
	11月18日	土				
	11月19日	日				
諫 早	11月20日	月	実習指導の実際 (成人看護学)		大学教育課程	
			吉田 恵理子		永江 誠治	
諫 早	11月21日	火	実習指導の実際 (在宅看護論)		実習指導の実際 (老年看護学)	
			川崎 涼子		山口 多恵	
諫 早	11月22日	水	看護師課程(3年課程)		准看護師課程・看護師課程 (2年課程)	
			糟谷 操子		原田 恵	
	11月23日	木	勤労感謝の日			
諫 早	11月24日	金	助産師課程	実習指導の実際 (小児看護学)		
			永橋 美幸	林田 りか		
諫 早	11月25日	土	実習指導の評価 (4)		実習指導の評価 (5)	
			植垣 一彦		植垣 一彦	
	11月26日	日				
佐世保	11月27日	月	実習指導の実際 (1)		実習指導の実際 (2)	
			目黒 倍		目黒 倍	
佐世保	11月28日	火	実習指導の実際 (3)		実習指導の実際 (4)	
			永井 瞳子		永井 瞳子	
佐世保	11月29日	水	実習指導の実際 (5)		実習指導の実際 (6)	
			永井 瞳子		永井 瞳子	
佐世保	11月30日	木	実習指導の実際 (7)		実習指導の実際 (8)	
佐世保	12月1日	金	実習指導の実際 (9)		実習指導の実際 (10)	
	12月2日	土				
	12月3日	日				
	12月4日	月				
佐世保	12月5日	火	実習指導の実際 (11)		実習指導の実際 (12)	
佐世保	12月6日	水	実習指導の実際 (13)		実習指導の実際 (14)	
佐世保	12月7日	木	実習指導の実際 (15)		実習指導の実際 (16)	
			(発表会準備)			
	12月8日	金				
佐世保	12月9日	土	実習指導の実際 (17)		実習指導の実際 (18)	
			永井 瞳子		永井 瞳子	
	12月10日	日				
佐世保	12月11日	月	実習指導の実際 (19)		実習指導の実際 (20)	
			目黒 倍		目黒 倍	
佐世保	12月12日	火	閉講式			



**実習指導者として
従事する予定ですか**



受講者数	35人
回答者数	35人
回答率	100%

<評価 >

e-ラーニング・集合研修とも受講者にとって満足を得られた結果であり、ほとんどが「理解できた」「やや理解できた」と評価していた。「理解できなかった」と返答したものは0であった。よって、本研修のねらいである「実習指導展開の基礎的知識を学ぶ」は達成できた。講習前に持っていた悩みや課題の解決度合いについては97.2%の受講者が「解決できた～やや解決できた」と答え、唯一、「できなかつた」と返答した受講者も概要的な学びは得られたというコメントを記載していた。具体的な方法までを切望したため、「解決できず」という返答に留まつたと思われる。

今年度より「実習指導の評価」の中に「認識の3段階連関理論」による、認識の深まる思考過程を取り入れていった。指導する側の内省に関わるものであり、結果、自己評価に関する振り返りが記載され授業目標は達成されたと考える。

<課題と今後の取り組み>

今年度、最終提出レポートのループリック評価を実施した。評価4項目3点から1点の最高12点、最低4点にて評価。「誤字脱字」「文字数」の中央値は最高点の3点。「独自性・新規性」のは2点、「論理性・構成力」は1点。文体や基本的な文章の書き方も特に減点対象とはせず、最高点12点、最低点6点、平均9.1点であった。評価項目中「論理性・構成力」が一番低く、35名中20名が評価点1点であった。これは全体的に論理性にかけ、思いつき的な構成が多く見られた結果と捉えられる。全体中央値9点に満たない者15名中13名はこの「論理性・構成力」で1点評価であった。また、eラーニング中指示どおりの行動ができず個別指導を受けた9名中「論理性・構成力」評価1点が7名、全体評価9点未満が6名であった。今後ともより細かな指示・説明を必要と考えられた。